

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-3		事業名	地下鉄ICカードシステムの導入																	
担当	交通局事業管理部経営企画課 山本 896-2719																				
全体計画																					
事業内容	平成20年度内の地下鉄でのICカード導入に向けて、老朽化に伴う改札機等の駅務機器の更新と併せて、関連機器のICカード化への対応を行う。 現在、ICカードで提供するサービス内容について具体的な検討を進めているところであり、路面電車やバスとの共通化についても、その実現に向けて検討を行っている。 さらに、クレジット決済との連携やICカードを利用した少額決済(電子マネー)のほか、地元商業者と連携した新たなサービスや行政サービスへの活用を可能とするような枠組みについても、関係部局と連携しながら整備していく。		<年度別の事業内容>																		
			H19年度 ・ICカード関連機器等の開発 ・カード名称及びデザインの決定 H20年度以降の関係機器のIC対応計画																		
			(IC対応台数/全台数) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20末</th> <th>H21末</th> <th>H22末</th> <th>H23末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改札機</td> <td>213台/392台 54%</td> <td>268台/396台 68%</td> <td>317台/388台 82%</td> <td>368台/368台 100%</td> </tr> <tr> <td>券売機</td> <td>175台/266台 66%</td> <td>207台/258台 80%</td> <td>252台/252台 100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精算機</td> <td>90台/159台 57%</td> <td>116台/161台 72%</td> <td>152台/152台 100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H20末	H21末	H22末	H23末	改札機	213台/392台 54%	268台/396台 68%	317台/388台 82%	368台/368台 100%	券売機	175台/266台 66%	207台/258台 80%	252台/252台 100%		精算機	90台/159台 57%
	H20末	H21末	H22末	H23末																	
改札機	213台/392台 54%	268台/396台 68%	317台/388台 82%	368台/368台 100%																	
券売機	175台/266台 66%	207台/258台 80%	252台/252台 100%																		
精算機	90台/159台 57%	116台/161台 72%	152台/152台 100%																		
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)																		
	○ ICカード関連機器等の開発 ・センターシステム ・社局サーバ、駅サーバ、運用サーバ中継機 ・改札機、券売機、精算機 ・窓口処理機 ・定期券発行機 ・輸送管理システム改修 ・ネットワーク工事 (参考) ・札幌ICカード協議会の設立(H19年11月) ・ICカードの名称をSAPICA(サピカ)に決定する。(H20年3月) ・ICカード基本シンボルのデザインの決定(H20年3月)		○ ICカード関連機器等の開発 ・社局サーバ、駅サーバ、運用サーバ中継機 ・改札機、券売機、精算機 ・窓口処理機 ・定期券発行機 ・輸送管理システム改修 ・ネットワーク工事 ○ 整備状況(IC化対応率) ・改札機229台(58%)、券売機177台(66%)、精算機92台(57%) (参考) ○ サービス開始 H21年1月30日 ○ SAPICAの種類 ・無記名SAPICA(大人) - 氏名等の登録の必要がなく、だれでも使用できる。 ・記名SAPICA(大人、こども) - 氏名等を登録し、登録者のみが使用できる。 - 紛失の際は再発行が可能である。 ・SAPICA定期券(大人/通勤、通学)(こども/通学) - 記名SAPICAに定期券機能を付加した。 - 定期区間外の利用でも自動的に改札機で精算される。																		
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)																		
場所	○ 整備状況(IC化対応率) ・改札機280台(71%)、券売機205台(79%)、精算機116台(72%)																				
規模																					
件数																					
等																					

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-3		事業名	地下鉄ICカードシステムの導入		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
地下鉄へのICカードの導入	-	-	導入			導入 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
■ 市民との連携、市民参加 ICカードの名称を決定するにあたり、市民の意向を把握するため、名称候補に関する市民意向調査を実施した。 ■ 企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力] 公共交通の活性化と地域の利便性の向上に資する共通ICカードの導入を目指して、札幌市とバス事業者が共同で札幌ICカード協議会を設立した。(H19年11月) ■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)						
評価(成果)			課題			
地下鉄でのICカードシステムの導入に向けて、着実に準備作業を進めた結果、H21年1月から運用を開始した。			○ ICカードサービスの周知徹底 お客さまに新しい乗車券システムを知っていただき、早期にICカードを利用いただくため、引き続きICカードサービスのPRに取り組む。 ○ 電車・バスとの共通化 路面電車や民営バスとの共通利用について、実現に向けて検討を行う。 ○ 連携サービスの推進 ICカードの利用促進につながる電子マネーや行政サービスなどとの連携を推進する。			
今後の事業の予定・方向						
○ 電車・バスとの共通化 路面電車・民営バスとの共通利用について検討を進める。 ○ 連携サービス ICカードを利用した少額決済(電子マネー)や行政サービスへの活用を検討していくことにより、ICカードの利便性を高める。						

